8月4日　教育・保育理論研修会







☆心も体も育てるわらべうた☆

わらべうたは乳児期の「一人の世界」を支え、特に２歳頃まで毎日歌いかけて心地よさを積み重ねることで、進級時や就学後の「話を聞く力」や学びへの意欲につながっていくということを学びました。３歳以降は少しずつ周囲を意識して行動していきますが、円や列になって移動するなど、集団で楽しむわらべうたなどを通じ、役割交代やルール理解が自然に育つこと等様々なお話をしていただきました。実際にわらべうたを実践し、発達に応じた展開や楽しさを体感することができました。

8月6日　主任・ミドル級研修会







☆子どもの遊びや探究を深める保育×ICT
～保育に ICT をどう取り入れるのか～☆

ＩＣＴを保育に取り入れる際は、子どもたちに「遊ばせない」よう道具として活用し、子どもたちと話し合って使い方や約束を決めることが重要だと学びました。すでにある園のデジタルメディアも工夫次第で探究につながり、写真を印刷して図鑑づくりをしたり、WEB 会議で遠方の農家から野菜の育て方を聞いたりすることもできると知ることができました。折り紙は本より動画が理解しやすいなど、具体例から活用の幅を学びました。

8がつ
公私幼保合同研修

8月 17 日　安全・危機管理研修会





☆教育保育施設における重大事故防止☆

安全な保育の設計には、保育者の専門性が求められ、どうすれば安全に挑戦させられるか環境を考え、禁止をせずにリスクを下げる工夫をすることが大切であることを学びました。「これを書いて何になるの？」など報告書に冷めているが、ヒヤリハット事例や小さな事故事例を積極的に集めて検討することは、実は重大事故を防ぐための一番の近道だということ等お話していただきました。事故報告・ヒヤリハット報告は責める対象ではなく、分析をして行動を変えることにつなげる、考える機会を組織としてつくるなど、集めた後が大切であるということを学ぶことができました。

8月 24 日　インクルーシブ教育・保育研修会





〇保育におけるインクルージョンを考える〇

インクルーシブ保育とは、こどもの人権と尊厳を基盤とし、すべてのこどもが共に暮らし、共に育ち合う環境を創る保育の在り方であるということを学びました。多くの要素が関連し合ってインクルージョンが成り立つこと、中心には常に一人ひとりの子どもがいること、一人ひとりの内側にも多様性があること等様々なことをお話していただきました。後半は、『自園でインクルーシブな雰囲気の見える場面』の写真を持ち寄り、意見交換をしたり、インクルーシブな雰囲気はどのように作られるのかをグループで検討したりしました。